

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（28）（29）」

2. 日時：令和5年10月23日（月） 16時30分～18時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部  
執行役員 赤司副本部長 他8名

（このうち1名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年10月18日に受取済み>>

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について（補足説明資料）

<<本年10月20日に受取済み>>

- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性について（特定重大事故等対処施設を除く）
- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性について（特定重大事故等対処施設を除く）

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい規制庁地震津波のスズキでちょっとすいません開始時間遅れましたけど、今から 1000、限界ですね、原子力発電所の
0:00:11	標準応答スペクトルを考慮した地震動評価、これのまとめ資料のヒアリングと。
0:00:17	一部骨子、補足説明という形で、
0:00:20	補正申請のイメージですかね。こちらの資料が、
0:00:24	それぞれ 18 日、10 月 18 日付で出てますのでまずこちらについて説明内容を受けて説明内容の確認をします。
0:00:32	あとは少しちょっと時間があれば、基礎地盤、
0:00:36	周辺斜面ですかね。
0:00:39	これ特重の含む内容についてはこのままではできません
0:00:43	特重なしの
0:00:44	ですね、可能であれば、地盤斜面、仙台と原価両方ですね。
0:00:48	について説明を受けたいと思います。まず玄海の地震動ですね。
0:00:53	それについて説明をお願いします。
0:00:58	はい。九州電力の野村です本日はよろしく申し上げます。まずTPG044の方で地震動の方の取りまとめ資料をご説明した後に、
0:01:09	DTG04 号の方で補足説明資料の方も説明させていただきます。
0:01:15	まず、TPG、044 の方になりますけれども、こちらは 1 枚めくつ、3 ページの方をお願いしますけれども、こちらの補足⑨のところに変更になっておりますのでそちらをご説明させていただきます。
0:01:30	江藤今回のご説明資料ですけれども、以前 1 回ご説明した内容からの変更点を中心にご説明させていただきます。185 ページからの補足⑨の許可の地震動評価の影響につきましては他、
0:01:45	竹木場断層及び江島南断層の断層傾斜角不確かさケースについて評価モデルと、標準とスペクトルモデルの理論的手法による地震動を 194 ページと、
0:01:57	195 ページのように比較しておりましてこの結果をもとに、ハイブリッド合成法は評価評価を上回ることはなく強化評価に経験的グリーン関数法とはブリッド合成法、
0:02:08	の関係に変化がないことから、許可基準地震動は経験的グリーン関数法によるSs2 及びSs3 から変わらない旨をご説明してございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:19	今回竹木場断層及び 10 ミナミ断層の代表ケースについて聞くか評価時と、今回のモデル用に経験的グリーン関数法とハイブリッド合成法の結果の比較を、
0:02:31	196 ページ前計算結果 197 ページに追加してございます。
0:02:36	あと 196 ページをお願いします。で、196 ページの通りハイブリッド合成法の結果は評価評価Aを上回らないことを確認しております。F97 ページの他のケースにつきましても同様の結果であることを確認してございます。
0:02:51	ハイブリッド法合成法の結果を直接確認しましたので、193 ページの三つ目のバーに、193 ページになりますけれども、三つ目のバーの記載をちょっと修正してございまして得る理論的方法をもとに判断していた結論を、
0:03:07	ハイブリッド合成法をもとに確認した結果にエミ直してございます。
0:03:11	この結果及び前回の玄海の補正のヒアリングでの英語議論も踏まえて検討しました結果、玄海の地下構造モデル、
0:03:20	は標準応答スペクトルモデルに統一することをしてございます。補正案につきましても今回のハイブリッド合成法の結果を反映しております。
0:03:30	続きまして江藤TPG04 号の補足説明資料の方のご説明をさせていただきます。
0:03:39	1 ページお願いします。
0:03:42	今回標準応答スペクトルを考慮した地震動評価の補正申請書案については既許可及び当初申請からの変更点、変更のタカハシを整理しておりますけれども、
0:03:53	前回同様、青字が既評価から当初申請で記載を変更した箇所、赤字が当初申請から今回補正申請書案で記載を変更している箇所を示してございます。
0:04:04	今回変更となった箇所についてABCA-A記載で分類しておりますけれども、一部記載を変更しておりますのでその部分についてご説明します。
0:04:15	B-5 の許可等の地下構造モデルの見直しに伴う変更につきましてはキクカワの地震動評価に用いた地下構造モデルを今回標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に用いる地下構造モデルに統一する。
0:04:28	ことに見直しておりますので、これに伴う記載の見直しをしてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:33	B6 につきましては審査でご説明した、キクカワ以降に取得した地震観測記録等の反映で、先週ヒアリングでご説明しました、川内と同じような見直しを行ってございます。
0:04:48	次にC1 及びC2 につきましては加藤ほか 2004 と、原子力安全基盤機構に関する記載の削除理由を変更してございます。
0:04:58	C値、衛藤カトウ家について既許可では、震源を特定せず策定する地震動として、カトウ化による疑似速度応答スペクトルを、既往の知見として取り入れていましたが、基準の改正により、
0:05:11	設置許可基準規則の解釈では留萌の地震等評定の藤スペクトルの二つを考慮する旨が記載されておりまして、
0:05:19	標準応答スペクトルはカトウオカを全周期体で上回ることから削除してございます。
0:05:24	次に、年にですけれども原子力安全基盤機構 2005 に関する記載の削除になります。
0:05:30	許可では加藤ほかの妥当性確認として原子力基盤機構 2005 の自分元気地震基盤における一応ハザードスペクトルと比較を行ってございましたが、加藤スペクトルを削除したことにより記載を削除しております。
0:05:45	標準震源を特定せず策定する地震動の兵頭スペクトルは記載の通り領域の
0:05:52	領域震源の位置をハザードスペクトルとの比較により超過確率を参照し妥当性を確認してございます。
0:05:59	四、五につきましてはその他わかりやすさ向上の観点から、構成を見直し、記載の充実を図った箇所ということで記載してございます。
0:06:08	2 ページをお願いします。
0:06:11	2 ページ 3 ページは補正申請書案における、小項目の変更箇所を示してございます。2 ページの 7.5. 5.3、(3)のボーリング孔内減衰測定及び、
0:06:24	PS検層については、新たに項目を追加してございます。
0:06:28	次に 3 ページをお願いします。
0:06:31	3 ページの赤文字の箇所につきましては特定せずの小の項目について一部、わかりやすさの観点で見直しを行ってございます。
0:06:40	4 ページ以降が、一番左に既許可の申請書 2 番目の列に当初申請の記載で 3 列目に今回補正案、一番右の備考欄に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:50	先ほど 1 ページ目でご説明した変更理由を明示してございますので主な変更点をご説明させていただきます。ページ飛びますけれども右下 14 ページをお願いします。
0:07:06	7.5. 5.3、(1)の敷地内の地震観測について、審査でご説明しました既許可以降に取得した 12 地震を加えた、
0:07:16	19 地震を反映してございます。図表についても同様に変更して、反映してございます。対応する表をご説明しますと 44 ページから、
0:07:26	49 ページをご覧くださいますと、7.5. 5.1 表にも、反映してございますけれどもそちらの図を反映しております。また図については 94 ページの
0:07:40	第 7.5. 5.2 図の主な観測地震の震央分布、それから、95 ページから 97 ページをお願いします。
0:07:50	第 7.5. 5.3 図から、第 7.5. 5.5 図。
0:07:57	のここの地震の応答スペクトルに同様に 19 地震を反映してございます。
0:08:02	また、主な地震の範囲に伴いまして到来方向別の応答スペクトルについても見直しを行ってございます。99 ページをお願いします。
0:08:14	到来方向の地震につきましては、M5 以上の地震について検討を行っておりますので、データを更新して整理しました結果、いずれの方向についても観測記録と、
0:08:26	ノダの応答スペクトル比を概ね 1 を下回り、地震の到来方向による特異な地震増幅の傾向は見られないとする、教科評価からの結果は変わってございません。
0:08:37	こちら前回のヒアリングでその内容についてご説明をしてないということで仙台の方ありましたけれどもこちらについても、別途ご説明させていただければと思っております。
0:08:47	15 ページに戻っていただきまして、
0:08:51	(3)ボーリング孔内減衰測定及びPS検層につきましては、審査でご説明したように今回、地下構造モデルの設定根拠となることから、敷地地盤の 3 項について減衰測定を実施した旨を追記してございます。
0:09:06	追記に伴いまして 50 ページをお願いします。
0:09:11	第 7.5. 5.2 表として地盤減衰測定。
0:09:16	下、地盤減衰速度構造を追記してございます。
0:09:23	戻りまして 16 ページをお願いします。
0:09:26	7.5. 5.4 の地下構造モデルにつきましては審査を踏まえまして既許可の長周期体における理論計算用モデルから今回、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:36	地震動評価用モデルに統一することとして記載を見直してございます。
0:09:41	また、
0:09:42	後わかりやすさの観点から、速度構造、密度減衰について設定の根拠をそれぞれ記載するような形に変更してございます。また、地震観測記録や、ボーリング孔内減衰測定結果により妥当性確認を行ったことを追記しております。
0:10:00	と 51 ページに地下構造モデルの表を示しておりましたけれども、モデルを統一化しわかりやすさの観点からいえる表記の追記をしております。
0:10:12	19 ページをお願いします。
0:10:17	こちらは敷地ごとに震源を特定して策定する地震動において、観測記録とNodaの応答スペクトルの比を内陸地殻、内陸補正係数について記載しておりますけれども、
0:10:28	キクカワ7 地震から 19 地震に変更してございます。
0:10:32	100、112 ページをお願いします。
0:10:38	112 ページに 19、地震による応答スペクトル比を反映してございますけれども、19 地震の応答スペクトル比は既許可と同様に内陸補正係数及び、
0:10:48	1.0 を下回り、駅強化評価に影響がないことを確認してございます。こちらについても別途ご説明させていただければと思います。
0:10:56	20 ページをお願いします。
0:11:00	AとDの断層モデルを用いた手法による地震動評価につきましてはモデルを統一しましたので、標準応答スペクトルモデルの理論計算とハイブリッド合成法の結果を、
0:11:10	114 ページから 129 ページの 7.5. 6. 14 図から 7.5. 6-29 図から反映してございます。
0:11:20	こちらはキクカワ評価と変わりませんので詳細説明は省略いたします。
0:11:25	21 ページ以降になりますけれども、仙台の補正案と同様にわかりやすさの観点で記載を充実しております。21 ページのカトウほか 2004 に関する、
0:11:36	記載の削除した点は変更ございませんけれども、その下の震源近傍の観測記録の収集については、対象地震を追記するとわかりやすさの観点から記載の充実を図ってございます。
0:11:49	23 ページ及び 24 ページの、鳥取県西部地震、
0:11:55	いや岩手、岩手宮城内陸地震もタイトルを追加しておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:00	20、
0:12:04	23。はい。
0:12:09	と25年。
0:12:13	はい。
0:12:22	日中
0:12:30	申し訳ありません。
0:12:32	22ページですねすみません。
0:12:37	はい。
0:12:43	2122、両方逐条20
0:12:46	ページ。
0:13:27	すみません申し訳ございません。ちょうどこちらの資料ですね4ページの方が抜けてまして一部落丁があるようですので、ちょっとご説明はこのまま続けさせていただきますけれどもページの方修正して後程修正訂正させし直してさせていただきます。
0:13:47	はい。
0:13:48	ではちょっと続きをご説明させていただきます。23ページ、24ページの方が、鳥取県西部地震や、岩手宮城内陸地震も、
0:13:59	タイトルタイトルを追加し賀祥ダム監査廊と記載してございます。
0:14:05	24ページをお願いします。
0:14:09	中段の全国共通に考慮すべき地震動につきましては14地震の削除等は前回から変更ございませんが、わかりやすさの観点で設置許可基準規則解釈別記に示される。
0:14:22	2地震を対象とする旨を追記してございます。
0:14:26	14ページをお願いします。14ページの火山の北海道留萌支庁南部地震についてはキクカワでははぎとりに際して地盤の不確かさを考慮して、
0:14:38	地震動を評価しさらに補正の観点から、地震動をかさ上げしてることがわかるように記載を見直してございますけれども、こちらにつきましては江藤先週の仙台のヒアリングと同じ内容ですので、
0:14:51	こちらについてはまた別途、整理してご記載を変更してご説明させていただければと思います。
0:14:58	25ページ、26ページをお願いいたします。
0:15:04	括弧B標準応答スペクトルを考慮した地震動の箇所につきましては審査いただいた部分を反映してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:11	先週の川内と同じようにき地震基盤相当面で定義された標準応答スペクトルに適合する模擬地震を作成し、地下構造モデルを用いて、
0:15:20	解放基盤表面の標準応答スペクトルを考慮した地震動を策定作成する方針を順を追って説明する方針としております。方針に従い順にローマ数字の1からですが、
0:15:33	1の地震基盤相当面2の模擬地震は、3の標準応答スペクトルを考慮した地震動の順に審査事項を反映してございます。
0:15:42	2で2の模擬地震はではらん水槽を用いた模擬はと、観測技術を用いた模擬はお示し3の標準応答スペクトルを考慮した地震動で選定を行い、
0:15:52	含水率を用いる標準応答スペクトルを考慮した地震動を選定する記載をしてございます。
0:15:58	図表につきましては136ページから144ページに、審査でご説明しましたら水槽、観測井ソウノ八景やオートスペクトルを記載しておりますけれども前回の図から変更はございません。
0:16:11	28ページ、31ページにつきましては、わかりやすさの観点からタイトル名を設計応答スペクトルから基準地震動Ss策定に見直しをして、
0:16:22	基準地震動の時刻歴を示しておりますのでタイトルと内容が対応するように記載を見直してございます。
0:16:29	ご説明は以上になります。
0:17:06	はい規制庁鈴木です。ご説明ありがとうございました。
0:17:10	ちょっとどうしますかね。
0:17:13	まず、先週の仙台のヒアリングでもあったんですけど、一応その、
0:17:19	新たに主な敷地の主な観測局ちよ申請書上の図で、図表という下の表でリストアップして、
0:17:27	その観測記録をスペクトル図で示しというのは、これ仙台も限界。
0:17:33	そこを直接ヒンヨウしている。
0:17:36	これまでの電力の構成上引用しているものが一応到来方向の話だとは、耐専の補正するか、
0:17:43	で、
0:17:43	引用していて、
0:17:45	それを多分そのままみずら上機械的に、そのままだと。
0:17:49	当然要するんだから、到来方向の、いわゆる検討の図も変わるし、
0:17:54	ということで一応出してはきてますけどこれちょっとまだ中身をね、聞いてないしそのまま表に載ってる地震をそのまま入れて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:01	多分数も若干に合わないところも仙台でもあったんで、それを改めて聞くという
0:18:06	あとは留萌のところも一応説明文をわかりやすく後続のサイトだと言われる基盤話と、
0:18:14	そのあと解放基盤まで、立ち合い、地下構造を使う使わないもちろんあるんですけど、最後その端数を切り上げている話。
0:18:22	それを今回、説明上切り分けましたっていうことではあるんですけど、
0:18:26	それも少しまとめ資料ベースで中身を聞いておかない。
0:18:31	事なんで、それは別途説明
0:18:34	ということで、主にはそうするとですね、いわゆる地下構造モデル、
0:18:41	これの一本化の話だと思うのです。
0:18:45	ガー
0:18:46	そうするとですね、なのでまとめ資料の方に、
0:18:51	TPG-044 ですね。
0:18:54	すいませんちょっとこれの土工を見る等地下構造モデルとしてはですね、営業課許可の地震動評価への影響確認もやった上で、最後、
0:19:04	地下構造モデルとしては、
0:19:07	検討の出発点は標準応答スペクトルの地震動評価をできるように短周期から長周期まで使えるモデルを検討しましょうというのはやっていて、
0:19:16	最後許可の地下構造モデルもひっくるめて、一本化しましょうという話はずいませندどこに書いてあるんでしたっけ。
0:19:23	大向なんかあんまり、
0:19:25	前半のところが資料見ていっても、
0:19:28	何とかよく地下構造モデル長周期用に検討してたんで、短周期まで使える。
0:19:35	比嘉コウノモデルを検討が必要なんです。それはこうやって設定して妥当性確認しましたって、
0:19:42	その説明はもちろんあるんですけどね。
0:19:44	そのあと最後一本化しますっていう話にはどう繋がってるのかちょっとこの、
0:19:49	まとめ資料上どこにあるのかなっていうのも教えてもらっていいですか。
0:19:53	はい。九州電力の本村でございます。今回のまとめ資料ではですね、ハイブリッドの合成法について
0:20:02	標準応答スペクトルオオノモデルで、どうかという結果を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:07	差し込まさせていただいてますけども、さっきおっしゃられたすいません、統合するとか、そういうところっていうところが、今現状記載が、
0:20:16	ない状態になってしまっておりますので、ちょっとそこら辺わかるように、申し訳ありませんけども、追加させていただこうと思っております。
0:20:27	はい。
0:20:28	ないんですね。はい。
0:20:30	申し訳ないですけど今、現状ではない状態になって、ちょっとそのときにですね、どこまで改築するイメージなのかっていうことで、一応資料として標準音スペクトルを考慮した地震動評価なんで、
0:20:44	資料の 10 ページ目からの、
0:20:47	地震動の評価の流れ。
0:20:51	かな。
0:20:55	ちょっと待ってくださいね。七、八があって、
0:21:00	旧地下構造モデルか。
0:21:02	なお、9 ページ目に一応何か地下構造モデルの設定も地震はの策定と流れが評価の流れがあって、
0:21:10	当然 10 ページ以降はこれはまず、標準語とスペクトル、これを、
0:21:15	取り入れるためには、
0:21:17	全周期体に適用できる地下構造モデルが必要です、出発点の話が書いてあって、
0:21:23	ここから一次かな 12 ページ、もともとの許可の地下構造モデルはこうでしたでした。
0:21:31	で、観測記録が増加して、地下構造モデル分析③で、
0:21:37	標準応答スペクトル用のモデルを検討しました。
0:21:43	その上で、一応この後 2 極間の地震動評価への影響って多分 093、補足⑨でした
0:21:52	それは中身は後で確認しますけど、
0:21:54	補足⑨の確認をして、
0:21:58	影響もほぼないの確認できました。
0:22:02	で、最後の最後で、あれですか。なので、
0:22:05	では、これ地下構造モデルとして和智許可のものをアップデートする形にして、
0:22:11	一本化します。なので、6 条は、
0:22:15	地下構造モデル
0:22:18	を書き換えに行きます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:19	ていう話の流れですか。
0:22:23	それとも何かこう入口に戻って許可の地下構造モデルアップデートし ますって流れで、
0:22:29	話を、50、
0:22:31	1 から 12 から作って、作り直す
0:22:34	ですかね。
0:22:35	いいですかね。
0:22:37	はい、九州電力の本村でございます。今、現時点では考えてたのが、鈴 木さんがおっしゃられたみたいなの、前者の方ですね、許可の地震動評価 に影響ないって流れで、
0:22:49	影響ないんでアップデートしますみたいなのを記載しようかなという ところで、ちょっと考えたところがございます。以上です。
0:22:58	はい。そこはこれまでの議論なり検討なりの流れからすると多分前者な のかなと思って、
0:23:05	ここで申請書の記載って何か時系列的なものが書けないので、最後仕 上がりが書かれるじゃないですか。
0:23:13	なんで多分仕上がりとしては、地下構造モデルって書かれた章ですね。
0:23:19	アノ。6 条はアプリ置き換えに行くんですけど、
0:23:23	ここまでの流れのんびりがこのまとめ資料じゃないと書けない部分なの で、
0:23:30	ここはねえ。
0:23:33	うん。
0:23:35	ポツとこの地下構造モデルの設定の最後に、
0:23:39	企業足すのか最後地震動評価のところに出すのかちょっと全体の構成 としてはどこかに、
0:23:46	話を入れないとイマダと影響が、
0:23:48	ない、ないことが確認されましたと言いつつ、話としては、何か別々の地 下構造モデルのまま、
0:23:55	でも影響ありませんって言うだけで止まっちゃってるので、ちょっと そこはすみませんまとめ資料としてしっかりですね、話の筋道を、
0:24:03	書いてください。
0:24:05	いうところでありませう。はい。なんで、最初っから地下構造モデルとして 何かアップデート版を作りますっていう、
0:24:13	流れにまではもちろん変えないんで、
0:24:15	も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:16	標準応答スペクトルの震度評価できる地下構造モデルを検討して、検討結果があって、それを許可の地震動評価のハイブリッド合成の話だったり、
0:24:26	或いは経験的、
0:24:29	グリーン関数の地震動評価の妥当性確認。
0:24:31	影響がないのかっていうのを確認した上で、
0:24:35	この結果として変わりませんので
0:24:38	じゃあ一本化しようっていう流れであれば、ちょっとそういう構成で、
0:24:42	ですね資料、加筆してもらえますかね。はい。
0:24:48	今地下構造の一本化のところはちょっと何か、
0:24:52	いいですか、大きなところを今ちょっと申し上げた通りかなと思ってますけど。
0:24:58	はい。九州電力の本村でございます。まとめ資料の方にその一本化の流れがわかるように、追記したいと思います。
0:25:09	はい。お願いしますでその上で、今回その情報として、
0:25:14	今回は1回まとめ資料その他の部分は1回前回ヒアリングで確認してるんで、
0:25:23	申しますかねえ、このまとめ資料で言うと補足9って185ページからこれ結果が、
0:25:29	幾つか出されてですね。
0:25:32	今は、これ今二つの地下構造モデルの位置付けってということでこの段階までは、もともと許可のモデルがあり、
0:25:40	標準応答スペクトルで検討したモデルがあり、
0:25:43	この後、確認をした結果をもって最後一本化しますって、
0:25:48	いう話なんでしょうけど、
0:25:52	今回結果が、
0:25:55	された部分ですねAと話としては193194のところ、
0:26:06	そっから100、
0:26:07	これ194ページ、195ページ行って、それぞれ断層傾斜角の不確かさを考慮したケース。
0:26:18	で出ていて、
0:26:19	これ他のケースもやられていて、代表でこれを載せてるんですけど。
0:26:27	九州電力の本村でございます。194ページ195ページにつきましては、もともと審査会合でお示ししてた、直接Ss-2とSs-3に該当するようなケースでございまして、もともとこの994と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:43	195 で理論計算だけを、代表して載せさせていただいてました。で、今回ハイブリッドをやりまして、この二つのケースについてまず 196 ページで、ハイブリッド合成法の
0:26:56	既許可のものと、今回の標準応答スペクトルをモデルを用いたものを比較したものを付け加えてございます。さらに、197 ページで、
0:27:07	イマダ断層モデルAのすべてのケースについて、ハイブリッド合成法やりまして、その結果を載せてます。
0:27:16	で、この 197 ページっていうのが、もともとはずね、何ページかな、199 ページで、既許可の時はこういうふうな見せ方をしてございましたので、すべてのケース、同じような、
0:27:33	形ですずね、197 ページに、
0:27:37	入れさせていただいたというところでございます
0:27:44	あ、ごめんなさいまず 190490 の
0:27:48	この理論的手法による地震動評価。
0:27:52	これは当然、
0:27:54	そのあとハイブリッド合成するためには、当然全ケースやっているんだけれども、
0:27:59	ここに載せている趣旨としては何これAと。
0:28:03	経験的グリーン関数法の方で最後Ssに残ってるSs幾つ谷井さん。
0:28:09	新居さんが、断層傾斜の不確かさを考慮したケースが最後Ssになってるんで、それと同じケースを、
0:28:15	いわゆる代表なのか参考なのかで、
0:28:19	ケースを載せました当然他のもやって
0:28:22	そういう意味を持たせてる。
0:28:24	ていうかだったらそういうことをずね、多分入っていただかないとわかりました。193 ところにはナカ 140555。
0:28:32	許可の理論的手法の徴収規定の評価結果緑線以下となることから、
0:28:37	190195 をご覧くださいって書いてあるんだけど、なぜこの
0:28:41	1 ケースだけが書かれているのかとかですずね。
0:28:44	あとは、
0:28:46	194 とかもこれ多分、緑と青が
0:28:50	重なっていて、これわあ、
0:28:53	きちんと確かデジタル値でも下回ってるんですけど、何かちょっとそれが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:57	重なってるんで、この図だけ見てもですねあれこれ重なってるんですけど、 つけっというの、
0:29:02	説明をいちいち質問しないとわからなかった部分でもあるので、
0:29:07	少しそこはなぜこのケースを代表して比較させてるのかとか、
0:29:11	この図を見て何を言いたいのかというのをですね、190195 ちゃんとそれぞれに書いてもらっていいですかね。
0:29:18	はい。九州電力の本村です。なぜこのケースか、あと、デジタルでみないとわかんないところの、下回ってるところをちょっとわかるように記載したいと思います。はい。あんま文字としては同等で、デジタル値、
0:29:33	下回ってますというのを書くんではいしょうか。
0:29:35	それがね、申請書に書かれるような話ではもちろんない。
0:29:39	けれども、定性的にはもう、当然ながら、
0:29:42	地下構造モデルで減衰値を下げて、減衰を大きくとる側、短周期側でとってるので、
0:29:47	長式はもうほぼ影響はないんだけど若干
0:29:51	下がる側に振れるっというの、これは確か会合で確認した内容だと思ってるんで、もう少しこの図だけべたっと張るんじゃないかと、
0:29:58	きちんとその図から何を説明したいのかというのを書いてくださいと。
0:30:02	その上で、ハイブリッド合成の結果はなので、まずはその断層傾斜の不確かさケースを乗せた上でですよ 196
0:30:13	197、8、
0:30:17	違う 597 は、すべてのケースを載せていて、
0:30:21	198 はもともとのこれは、
0:30:25	経験的グリーン関数法ですよ。
0:30:28	最後に許可の時のハイブリッド
0:30:31	で、
0:30:34	ただ申請書上は最後何を使うかっていうとこれハイブリッドと。
0:30:39	経験的グリーン乾燥法の評価結果を、
0:30:43	重ねたやつを最後使っ。
0:30:45	てるんですよ。そこが今のこのまとめ資料上だと。
0:30:51	多分それぞれ別々に、
0:30:54	ですねハイブリッド合成の結果 196197 に書きます。
0:30:58	それが許可のときのハイブリッド合成と評価結果との間比較はします。
0:31:04	今変わりません。
0:31:05	なので、定性的に考えてですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:09	経験的グリーン関数法の評価結果等、
0:31:12	ハイブリッドの企画です。
0:31:15	それは関係性に変わりがないから、
0:31:18	およそ
0:31:19	Ssとして選ばれるのは経験的グリーン関数法の結果でしよって、
0:31:24	字づら上定性的には言ってるんですけど、
0:31:27	最後申請書上比較するのは結局、経験的グリーン関数法と、
0:31:32	あとハイブリッドの比較で、きちんと大小関係を見て申請上は、
0:31:38	経験的グリーン画像で基準地震動を代表させますって確か書いてある。
0:31:43	だったら申請書に貼り付ける増、別にここに入れる。
0:31:47	ればですよ。
0:31:48	いいんじゃないかという
0:31:50	ことなんですけど。
0:31:54	具体的に言うと、
0:31:56	197 これは許可の時との比較かな。
0:32:01	この違うか。197、196197 はちょっと待て。
0:32:08	196 は今回と許可の時を重ねたやつですね。
0:32:12	197 はこれは、
0:32:15	これは今回の、
0:32:18	ものだけかなものだけになります。わかりました。
0:32:22	だから 197 が、
0:32:24	一応 199 に対して、
0:32:27	ほぼ同じなので、
0:32:30	既許可の時の 199 ページと 198 ページの関係と、
0:32:36	今回やった 197 ページと許可のときの 198 ページの関係が変わりません。
0:32:42	そういうのが文字では書いてあるんですけど、
0:32:45	うん。あればですね。
0:32:48	ちょっと 197 と 199 を何か重ねるとごちゃごちゃとするのかも。
0:32:55	これ、わあなんだろう。重ねるとどうなるんだ。
0:32:59	と説明したい内容等何か図が伴うようにしてもらっていいですかっていうと、
0:33:04	やっぱ最低限ですね。
0:33:06	197 と 198 をこれ比較して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:09	一応申請書類上は、
0:33:11	経験的グリーン関数法で基準地震動を選定します。
0:33:15	で、その申請書にやっぱり使うというのは、まとめ資料に入れといてください
0:33:19	最低限、そこはしっかりしてください
0:33:22	はい。九州電力の本村です。説明文と図がちよっと対応してないところありますので、ちよっと今、ありました通りちよっと図の方わかりやすくしたいと思います。以上です。
0:33:36	はい。ちよっと 197 と 199 多分重ねても、
0:33:41	全部重なってしまうということだと思うので、
0:33:44	そこら辺は説明文の記載とかで、もうちよっとしょうがないのかも。
0:33:51	はい。
0:33:54	それが一、まずは申請書に出てくる方の話ですね。
0:33:59	もう一つが、
0:34:02	何だ 200 ページからでしたっけ、経験的グリーン関数の妥当性確認ですかね。
0:34:09	これについてはですよ、これわあ、
0:34:14	日本でもどうすんでしたっけこれは、結局 Ss で選んでる。
0:34:19	経験的グリーン乾燥の SS ニイズ。
0:34:22	3 の妥当性って意味でやってるんでしたっけそれとも。
0:34:25	その経験的グリーン乾燥のその手法自体だと多分他のケースも含めてになるはずで、
0:34:31	妥当性確認ちゅうのは、どれに対してやってるんでしょう。この SE さんと SEI に対してのみやってたんで
0:34:38	九州電力の本村でございます。許可の審査の時もですね Ss-2 と Ss-3 に対応するようなケースで A 系、
0:34:48	統計的グリーン関数法で経験的グリーン関数法の妥当性を確認しているという位置付けのものでございます。
0:34:57	なるほど、じゃあ、関係性としてはまず、経験的グリーン関数法とハイブリッド合成法で、
0:35:05	経験的グリーン関数法の方が上回るんでそっちから SS 選びます。
0:35:10	そうすると Ss1 を上回ってる Ss2 と 3 を選びました。
0:35:14	その Ss2 と 3 は経験的グリーン乾燥の地震動評価に基づくので、その妥当性と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:21	その経験的グリーンが、その妥当性自体を一番最後チェックをしましたと。
0:35:26	というのがこの 202、202 なわけですね、ちょっとそこもね。
0:35:30	そういう意味であれば何でこの二つと比較してるのかっていうところはこれはわかるように書いといて、
0:35:38	はい。九州電力の本村でございます。今お話あった通り、ちょっと文章の方を修正したいと思います。
0:35:47	はい。ここ後ね申請書上に出てくる話ではないし、ちょっと今から
0:35:53	Ss23 じゃなくて、その経験的グリーン関数の地震動評価とかそのもの図クラベないのかとかそういう話はもちろんしませんけど、
0:36:01	はい、じゃ意味合いはわかります。
0:36:08	じゃあ、これもあれかな、今日同じようにSs23 に対してのI妥当性確認でこれは別に大きく変わらない。
0:36:17	はい。
0:36:19	まとめ資料としては、ちょっと残念なのは今回のそのまとめ資料上で、一応補正申請側の方で、地下構造モデルを 1 本にしますというところですね。
0:36:29	仕上がりとしては今今日出てきているPT、G-045 みたいな、
0:36:35	やり方のイメージはこちらとしても持っていたので、
0:36:39	ここはいいですけどちょっと間をつなぐ部分の、
0:36:42	説明です。
0:36:44	コガすみません、まとめ資料にないのでそこはすみませんしっかりとってください。
0:36:49	ということです。
0:36:52	他、
0:36:54	まずはこのまとめ資料側の方からですね。
0:36:57	で、
0:36:58	3 日、
0:36:59	噛む気づきの点ある方。
0:37:03	吉井。
0:37:07	じゃあすみません、ちょっとではですね。
0:37:12	もし、時間の限り、
0:37:16	補正イメージっていうところで、
0:37:19	いますけど、
0:37:22	まずはこれ何ページかな。後、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:24	ページ 6 ページあたりのところの、
0:37:27	比嘉伊井地震なんですけど、ここは、
0:37:33	とりあえず、直接観測記録引っ張ってるわけじゃないんで、いやこれはやるんだったら、熊本地震も被害地震なんじゃないですかという気はするけど、
0:37:42	そこは体制には影響ないんでどこかのタイミングでね、きちんとこういうものを入れるっちゅうのはベターではあるけどそこはいじらないっちゅうことですね。
0:37:50	あとは仙台の長京香のときに、あれ日向灘のやつありましたけど、微妙にそういう意味でいうと限界も、
0:37:58	かかっ
0:37:59	てはくるんだっけな、日向灘あたりが微妙に引っかかるのかな。
0:38:04	だけど多分変わんないですよそれはもう、別にここにあってぜひ変えてくれってわけじゃないんですけど、一応 200 キロ圏内のところにあれ日浦のところの、多分、
0:38:14	過去の被害地震も入るんだけど、
0:38:16	長期評価第二版をもってしても、多分、
0:38:19	変わらないっていうところはほぼ川内と同じ理屈なんだ。
0:38:23	あそこはあえてサイトとしては仙台の方が日向灘琉球海溝としては影響あるの。
0:38:29	間違いで確認しましたけどね。
0:38:32	もう特に何か見直すような、
0:38:34	今のいわゆる敷地周辺のコウ被害地震とか中小地震とか、微小地震とかいっぱいありますよね。
0:38:40	ここは特に変わらないっちゅうことで、
0:38:43	いいのかなと国井、熊本地震とかが 8 ページなのか 9 ページぐらいなのか、ちょっとずれるかもしれないですけど、
0:38:52	一応これ妥当敷地中心とした 100 キロ以内の地震で和服形成放棄地震と、
0:38:58	あとあれかな島原半島新活動とか、微小地震とか幾つか書いてますけど、
0:39:04	さすがにここの中に入ってくるようなものではないですね熊本地震 100 キロ越えなので、
0:39:13	どうすんですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:15	敷地から 100 キロ以内は福岡県西方沖島原半島の地震活動で 100 キロ以内ではといってフィリピン会プレートとあって、
0:39:24	100 キロ以遠では熊本、
0:39:26	地方、
0:39:28	深さ 30。
0:39:29	キロメートル以深以浅の地震体が見られるっていうのを個別に、
0:39:34	何かこれコマツ自身のことを意識して書いてたんでしたっけ。ではないよねこれ。
0:39:38	違うのかな。
0:39:41	これ今、9 月 10 ページなのかな。
0:39:44	Cとか、
0:39:45	Dが日浦だですよ。
0:39:49	この辺とか、
0:39:52	敷地周辺の地震活動とあっていて、
0:39:58	敷地から半径 10100 キロ以遠では熊本地方で深さ 30 キロ以浅の地震体が見られるっていうのは別にこれ、熊本地震のことを指してるわけ。
0:40:07	もともとはい。
0:40:08	そうだったって話ではない。九州電力の本村でございます。このCの記述ですけど、熊本地震を意識して書いてはおりませんで、もともとふたが開く断層対応周辺のことを言ってまして、もともと地震活動が見られるのは、当時からわかってたというところでございます
0:40:27	はい。はい。
0:40:29	うん。活断層分布とはい。
0:40:33	特に、そのあとも、地震の分類内陸地殻内地震、この辺もいいですね。
0:40:43	さっき申し上げたような中、13 ページになるのかな。
0:40:49	754 に、
0:40:54	多分落丁の関係で多分 13 ページなんだと思うんですけど、
0:40:58	プレート間地震と海洋プレート内地震で、ここに
0:41:03	宮崎県西部地震M7.6 とか、日向、5 の地震、
0:41:08	M7、
0:41:10	四分の 3±4 分の 1 って、もともとあって、
0:41:14	これが一、いわゆる仙台の方の確認した長期評価。
0:41:18	データしかここが動かないと。
0:41:21	だと思っんですけど、
0:41:23	ナフタも玄海も同じで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:25	これが変わらない。
0:41:27	いいので、あえてここをね、
0:41:30	リストを直しに行くとか、
0:41:31	最新化する必要はないっっちゃうのは多分川内と同じ理屈だというふうに 思っておけばいいですか。
0:41:38	主電力の本村でございます。先例、今話ありました通り、川内と同じとい うことで考えてございます。
0:41:47	はい。
0:41:48	ございます。そうすると、14 ページからの敷地の振動特性、
0:41:55	ここがまさしくその地下構造モデルの話になってきて、
0:41:59	まずは地盤構造これは何か新しいものはないんで、解放基盤の設定も 含めて変わりませんと。
0:42:10	で、
0:42:11	15 ページの地震観測及び、
0:42:15	微動アレイ探査等となっていてこのゴトウが一いわゆるPS検層とか、
0:42:23	現推測
0:42:24	Dの結果、(3)かな。
0:42:29	その次のページで(3)ボーリング孔内減衰測定大井、PS検層、これに 対応してるということでもいいですか。この表題の頭は、
0:42:36	はい。九州電力の本村でございます。さっきの藤が、この(3)のボーリ ングコア元測定とPS検層を指しているというところで、頭を入れていると いうところござい
0:42:51	はい。
0:42:52	だったかなあ。
0:42:54	これちゃんと補正申請する時とかは他のところで、7553 地震観測及び 微動アレイ探査。
0:43:03	で、もともと書いてたところは、
0:43:06	それ全部、
0:43:07	等って書いてるそのまま。
0:43:10	記載の直したんであれば、
0:43:13	ここだったかな。
0:43:14	しかしたら直っているのかもしれないんですけど、
0:43:17	ちょっと文字検索なりして、
0:43:22	いや 7553、新観測及び微動アレイ探査で止めてるようなのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:29	他のページで記載がないかっていうのは、そういうのは何か、私が言う話じゃないですけどチェックしてますよね。仙台の方ではその記載の見直してなかった部分がありまして、おっしゃる通り見直しておりますけどちょっと限界の方も注意して、修正をしたいと思います。
0:43:45	何かこう表題を微妙に変えたことによって、後のところでは直し待ちきれなかったりとかっていうのはそこは中身の話じゃないんで、
0:43:53	はい。
0:43:54	で、そうすると、ここで、敷地内の地震観測が、
0:44:00	途中で説明あったそれぞれ 44 ページなり 94 ページに、
0:44:06	観測記録の諸元だったり、信用分布だったりがあったり、スペクトルか。
0:44:13	が、
0:44:15	94 ページ以降かな。
0:44:17	に出てきますと、
0:44:20	それ 1 個 1 個はねすいません。
0:44:32	江田で、そうするとですよ、ここで主な観測記録を、
0:44:38	はい。置き換えるかふやしに行って、その結果を地下構造モデルの設定の方で使います。
0:44:45	そうすると、到来方向のところも同じ表から引っ張ってきている、てになっているので、それちょっと改めてね、ご説明いただくとして、
0:44:54	微動アレイ探査とはい。で、16 ページが、
0:44:58	ここで足したボーリング孔内。
0:45:01	水測定結果ねはい。はい。
0:45:08	一応ボーリング孔内の減衰測定結果とPS検層とって一応この減衰測定の結果は、
0:45:19	と速度構造
0:45:21	と、PS検層の結果獲られたこの三本の速度構造ですかね、これは後に、
0:45:27	テンロクの中に書きますと、
0:45:30	地下構造モデルの方は 16 ページか 7554 で、
0:45:37	ここは先週の川内のところでももう少しこの範囲からどの範囲までを、何に基づいたかっていうのを、
0:45:45	表形式でもいいんでしょうけど書き下しましたと。
0:45:50	そうすると減水時はとって、これ今は、
0:45:57	減衰 1(9)違って、マイナス 15 から 90 までは、これは何か文字ですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:04	鉛直アレイの地震観測記録の伝達関数を対象とした逆解析による同定結果等、
0:46:11	に基づきと言って、
0:46:13	その内容たるや、これはまとめ資料いかなきゃ、何のことかわからんちゆうことなんですね。
0:46:19	一方で、観測記録使った観測記録自体は多分、さっき言った、
0:46:26	市主な観測記録の一覧表とスペクトルには載ってるんでしょうけど、
0:46:32	もう一方の
0:46:34	それを
0:46:37	真似てというか、外挿している。
0:46:40	EL-90 から 200 ですね、こちらは。
0:46:44	ボーリングコーナー減数測定結果等に基づきなんで、これは 1 個前のところで、何か表に、
0:46:50	記したんですよね。
0:46:53	不確かさを考慮して設定っていうのはこれ多分最後、16 って言ったのに、
0:46:59	しましたという話ですかね。
0:47:01	うん。
0:47:02	最後は慣用値なんでいいんですけど、
0:47:06	この辺り、
0:47:08	いやイマダからテンロク上に具体的に根拠が書かれたのはEL-90 絡ん-200 のところ。
0:47:16	ですけど、
0:47:18	それはただボーリング孔内の減衰測定結果替えられたから、それだけで火やってるというよりは、
0:47:25	もともとそれよりも浅いところのEL-15 から-90 までの、
0:47:30	合理性があった上で、それをさらにもうちょっと深いところまで使えますっていう。
0:47:34	話の流れとしてはね。
0:47:36	本丸はそのマイナス 15 からマイナス 9 乗しっかり説明した上だったと思うんですけど、
0:47:42	これー、
0:47:44	テンロク上 2 個のまとめ資料の根拠をずらずら当然全部わー野瀬れない検討内容ですね、全部は野瀬れないにせよ、
0:47:54	イマダ等、地震観測記録を 19 個かな。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:58	1010 個のこの観測記録を使って何やかんや検討をして同定結果を、に基づきましたとしかなくて、
0:48:07	テンロク 2 の、
0:48:09	きちんとその
0:48:10	本来、多分そこが肝だったはずで、
0:48:14	200 メートルまで少しね延ばしましょうっていう話はもちろん今、
0:48:18	根拠としては 1、
0:48:20	そもそものこの 10-15-19 までのところの根拠になるものっていうのを、
0:48:26	と何か
0:48:27	申請上で、
0:48:29	出せるものってないんですかね。今だとちょっと文字だけになってて、しかも多分いろんなことを一言でまとめてますよね。
0:48:37	伝達観測記録の伝達関数を対象とした逆解析による同定結果通ってるんで、
0:48:44	多分何かいろいろなものを、
0:48:46	何かアノ等で、
0:48:48	そういうこと言ってるんでしょうけど、今ここで言ってる。
0:48:51	伝達関数を対象とした逆解析による同定結果の頭の前ですね。
0:48:57	では、これはまとめ資料の何ページのことを意識して書いてますこれ。
0:49:08	九州電力の本村でございます。まとめ資料のですね、24 ページをご覧くださいいただけますか。
0:49:19	もうこちらの表の方で、-15 メーターから-90 メーター、それと-90 からA-200 メーターの地盤減衰の設定根拠を書いてまして、
0:49:30	申請書上の-15 から-90 につきまして、地震観測記録の伝達関数を対象とした逆解析による贈呈結果とございますけどもこれにつきましては、
0:49:42	この表の中の、
0:49:45	伝達関数、周波数依存、それと、バイリニア型、
0:49:49	のところが、それに該当するところで、他の等というところは、地震は干渉法でありましたり、応答スペクトル伝達関数による確認というところを頭でくっっていると。
0:50:01	いうところでございます。
0:50:02	それと、-90 メーターから-200 メーターにつきましては、三つほど、検討確認結果というのがありまして、一つは速度高速度層断面、それとあ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	とボーリング孔内減衰測定、それと岩石コアというメニューで検討を確認してますけども、
0:50:20	このところでは、先ほど表に示したボーリング孔内減衰測定というのを、
0:50:25	メインに据えて、あと層という形で記載しているというところでございます
0:50:44	とするとちょっと待てよ。
0:50:46	24 ページの伝達関数周波数依存型バイリニアなんで、
0:50:52	それぞれが、
0:51:03	例えば 29 ページが、確か周波数依存型の結果ですね。
0:51:10	これが減衰の上点上限が 9、ゴール 8.7 程度ですという話だったり、
0:51:18	あとは、
0:51:20	バイリニアだと 33 ページでこれだと減衰値が $Q=3.7$ ぐらいです。
0:51:28	いう。
0:51:32	これが主で、
0:51:36	年、
0:51:41	Y5 で言ってた観測記録と合ってます云々の話は、
0:51:47	口頭スペクトルの確認なんで、これカトウの中に入るわけ
0:52:01	一応そういう話でしたっけねえ。一応
0:52:05	地震は干渉法は、根負けって言い方変なんですけど、これは頭の中に入るっちゃうんすかね。
0:52:14	三本柱というわけでもない。
0:52:19	それでもその何か文字にすると、
0:52:21	それっぽく書きやすいからこの二つが通って、
0:52:25	メインにして他が通ってるわけじゃないんですね、これ。
0:52:32	だから五つあるうち、
0:52:34	文字にすると、何か逆解析とか伝達関数とかって書くと書きやすいので、
0:52:41	その二つだけ書いておいてあと頭に丸めてるっていう、その文字として書きやすいかどうかではなくて、
0:52:47	一応根拠として、
0:52:48	もらった根拠になりそうなものを、
0:52:51	は、文字として書いて、他は、例えばゴトウスペクトルこれ確認なわけなんで、そういうものは頭にしてるっていう、そういうことでもいいですそうですねすみません、ちょっと説明不足でございましたけど。で、
0:53:04	検討メニューと確認メニューとありますけども、こちら、ここでは検討メニューというところで記載をさせてもらってると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:53:11	いうところです。
0:53:14	うん。
0:53:22	終わり。
0:53:23	なるほど。
0:53:27	そうか。
0:53:31	6 歳。
0:53:32	て結果と、
0:53:37	はい、じゃ、まずその設定、うん。
0:53:56	うん。ちょっと今ここで何を入れたのを入れて頭に入れてるかっていう、まあその説明自体は今どこを指してるのかわかります。
0:54:05	はい。
0:54:08	上でちょっとここワー庭園六条で多分根拠という意味で、
0:54:15	もちろん検討過程とかね、細かいところはいいのかもしれないんですけど、
0:54:19	もしここで今頭に入れる前の部分はその二つの検討だっていうんだとすると、
0:54:25	少なくとも、観測記録自体は、地震観測記録で表にスペクトルまとまっていますよね。
0:54:31	アベと 7.5. 幾つでしたっけの表が 7551 表と。
0:54:37	スペクトルが 7、
0:54:38	5 項、
0:54:40	3 から 7 号 5 図に、
0:54:43	観測記録のスペクトルはあって、
0:54:46	一応それを料理した後のものが、
0:54:48	鉛直アレイ地震観測記録の伝達関数を対象とした逆解析による同定結果。
0:54:55	そこは今載ってないわけですね。
0:54:59	もしこれを主だとするんだったらこれユリるとかですね。
0:55:03	その細かい過程のところとかまで当然、6 イケダしたきりがないんですけど、少なくとも、
0:55:10	うん。
0:55:11	ボーリング孔内減衰測定結果の方は何かこう載ってるのに、
0:55:17	うちは根拠が乗らないのは何ですかってそこだけの話です。
0:55:22	この細かい検討過程の話わかりました。
0:55:25	もし今この字づらで書かれるのであればですけどね。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:29	わかりました。その上で
0:55:33	地下構造モデルのところ、
0:55:37	ちょっと、
0:55:43	ちょっとこのあたりですね、ちょっと根拠として、6に何を書くのか、何をまとめ資料で確認するのかっていうところははっきりと検討ください。
0:55:54	その上で、
0:55:57	あとは特定しての部分はそういった意味で
0:56:00	変わりませんということなんでページは、
0:56:05	大分、
0:56:07	飛ぶのかな。
0:56:09	19 から 20 ページの応答スペクトル図のところはこれはちょっとまた別途機会、
0:56:16	補正係数の話ですね改めてお聞きすると。
0:56:19	いうことで、
0:56:21	考えてございます。で、
0:56:24	あと、
0:56:25	21 ページかな、断層モデルを用いた手法の地震動評価で、すみませんちょっとこれ確認ですけど、さっきのご説明のときに 114 ページ以降の図ですかね、許可と変わりませんので、
0:56:39	他のは、
0:56:40	ず若狭氏があるんですね。
0:56:44	ただ、説明内容としては変わりサブとしてはほとんど
0:56:49	この文字を変えるようなものではないんですけどいうことで、
0:56:52	はい。九州電力の本村でございます。結果ハイブリッドの結果自体は差し替えてございますけども、文章自体は特に変わりませんのでそのままにしているというところでございます。図を差し替えてございます。
0:57:06	はい、わかりました。
0:57:08	あとは特定せずの、
0:57:13	21 ページからかな
0:57:17	観測記録の話
0:57:19	はい。
0:57:22	24 ページなのかな鳥取県西部です。これは、
0:57:27	監査廊と1、
0:57:29	るのは、賀祥ダムのどこのっていうのを正しく分けましたって話なんでこれは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:35	適正化なんでしょうねと。はい。
0:57:38	25 ページ。
0:57:42	が、
0:57:44	留萌で、
0:57:47	26 ページの頭ぐらいからになるのかな、この辺はちょっと、これも冒頭 ありましたけど、ちょっと改めて、
0:57:55	この切り分けですね、どこに不確かさでどこが保守性でっていう話は、
0:58:00	同時こういうふうに分けるのであれば、
0:58:03	ミイ、これは別途説明くださいということで、
0:58:06	これもそちらから改めて説明しますって話があったんでちょっとその説 明を待ちます。
0:58:11	はい。
0:58:13	で、評定とスペクトルの地震動が 26 ページのPからかな。
0:58:20	あるの
0:58:23	これは、
0:58:25	ここ、1、
0:58:29	1、地震基盤相当面、
0:58:32	ここで先ほどの地下構造モデルを呼び込んで、その中でS波低、
0:58:38	速度が 3.10%。
0:58:40	キロ/secの層状面の 1800、
0:58:43	4 メートルで設定します。
0:58:45	ということでこの構成もはい、理解はしました。
0:58:51	特に中身自体は僕自身はのところも、
0:58:57	一応これ、模擬地震はのところの観測位相の方ですか 20、
0:59:02	7 ページ何行目で 123。
0:59:06	5 行目から始まる観測位相、
0:59:09	観測記録は敷地シンボの記録を収集し、と言ってて、
0:59:13	これはさっき言った何か敷地周辺の主な観測記録 19 ありましたね。
0:59:19	あれとは直接は。
0:59:21	関係ない。
0:59:22	その中からさらに近傍を選びましたっていう話では、
0:59:26	なくてこれは特に紐づけはしてないってことで、
0:59:37	はい。
0:59:39	これは確かにそこはM5、M5.4 みたいな仕切りで、
0:59:42	ここは多分そう申しきりじゃないのかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:47	と。
0:59:50	全体に獲られている記録全体からスクリーニングしてたものだったと。
0:59:55	ごめんなさいまとめ資料でいく等、
0:59:58	どこになるんでしたっけ。
1:00:16	とまとめ資料の 99、それから、選んだ地震が 100 ページになりますけれども、99 ページのフローに従って、スクリーニングしているものになります。
1:00:26	はいはい。はい。はい。
1:00:31	ここは一応幅を持たせてM5.0 からM7、
1:00:36	初期条件として 30 キロ以内。
1:00:40	30 キロ以内にそこがなかったんで広げましたっていう話かな。
1:00:49	この収集条件 1 とか 2 の縛りがあるので、
1:00:53	非機能的な観測記録というあれはその観測できたものは、
1:00:59	ずらっと並べているのとは、
1:01:01	本当コウ入口のまとめ方選定の仕方が違うんで、ここは直接は表を呼び込んでないっちゃうことですかね。
1:01:08	選ばれたものはね多分当然、
1:01:10	もともと 19 地震のナカとかぶってくるのかな。
1:01:15	かぶってこないのかな。
1:01:16	これ 100 ページにあるやつって、一応株。
1:01:19	ではいるのかな。
1:01:22	微妙にかぶらないのか。
1:01:25	今日 5.0 以上だから、
1:01:27	一応、
1:01:28	100 ページのこのナカ 1 から 6 ってやつは、一応、
1:01:32	結果としてはかぶってんでしたっけ。
1:01:38	もともとの主要の主要な地震の方が、マグニチュード 5.4 以上で切っておりますので、100 ページに示してある表だから 3 番が、100 ページの 1 の 3 番とか 6 番はいらないんじゃない。
1:01:52	おっしゃる通りですということでは、ここはそもそも選び方考え方が違うので、はい。
1:01:58	これ呼び込んでないのがせいと。はい、理解しました。
1:02:03	うん。
1:02:04	でやってる内容自体は
1:02:13	は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:25	はい。ちょっと細かい何か手にオカだったり、あと何か図表のずれみたいな。
1:02:31	ものまでは、もちろん見切ってはいませんが、基本すいません。
1:02:37	話の流れとしてはわかりましたし、繰り返しになりますけどちょっとまとめ資料上で説明してないようなものは、
1:02:44	改めて、
1:02:46	きちんと説明を伺った上でですね。
1:02:49	もちろん申請書に書かれればその前提で見ますし、
1:02:53	或いは
1:02:55	どっちが前後したとしても、当然中身は確認しますんで、
1:03:02	いやちょっと、
1:03:04	到来方向の話とかは、ちょっとここで今、多分この解像度で伺ってもしょうがない話なんで、
1:03:11	これはちょっと今後出てくる資料で、
1:03:13	話を伺いたいと思います
1:03:16	すいませんちょっと駆け足になりましたけれども、地震動の関係で、
1:03:23	この 44 番と 45 番で、
1:03:25	後日改めてご説明いただく部分あります
1:03:29	これ、うちに、
1:03:31	確認しておく。
1:03:33	事ある方おられますか。
1:04:16	そうですねちょっと今、この北西沖というのはもう気象庁のカタログに書いてあるもので、本震についてはですね福岡県西方沖地震という、
1:04:28	例えば 101 ページの、
1:04:30	ちょっと表にはですね、北西沖の地震、括弧、福岡県西方沖地震本震というような形で、
1:04:37	方針、そうですね、はい。
1:04:56	はい。
1:04:59	はい。
1:05:02	多分今までは
1:05:04	これ取りまとめ資料の 101 ページなんですかね、ここ、括弧書きの福岡県西方沖地震っていうのが、
1:05:10	多分敷地周辺の主な地震とかっていう時にはこうそういう言われ方をしてしまって、アナリストの方だと。
1:05:17	九州北西沖とか福岡県中部の地震とか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:22	うん、そういう。
1:05:24	書かれ方をするのかな。
1:05:29	このあたりもう多分、6条の敷地周辺で起こった主な地震としては不可欠平方オオキって言われ方を、
1:05:38	するのかな。
1:05:40	だけど、
1:05:42	表の中では併記をしてるんですけども文章中で、
1:05:47	確かに、福岡県西方という記載が、
1:05:50	あって、わかりにくいんじゃないですか。例えば、94ページに、
1:05:57	実施中への主な
1:06:00	観測地震の震央分布からA-40tTG45の方ですね。
1:06:06	これの、
1:06:08	94ページの表だと、ここは、
1:06:11	これ福岡県西方沖地震本震余震余震っていう書き方っていうのかな。
1:06:19	だからこれ、福岡県西方沖地震の方。
1:06:22	名前をせ性というかそっちの方を主として本震なのか余震なのかを書いていて、
1:06:30	うん。
1:06:31	ただまとめ資料の方は、
1:06:34	九州北西沖の地震で括弧書きで福岡県西方沖地震本震とか、
1:06:39	ちょっとこれもう、そのどっち。
1:06:43	助成として書くかって何かあるんですかね。
1:06:48	はい。すみません
1:06:50	補正書の中の方ですね。でもですね表で記載が北西沖と書いてあったりですねそれから福岡県西方沖と書いてあったりと、ちょっと記載が揺れておりますのでちょっと記載の統一化を図りたいと思います。
1:07:11	そうですねごめんなさいと例えば46とか、
1:07:15	これはだから監修者の観測記録の方ですね。
1:07:18	これだと。
1:07:20	確かに九州北西沖括弧福岡県西方沖地震、
1:07:23	余震とか、
1:07:25	と書かれていたり、
1:07:27	うん。
1:07:28	さっきのスペクトルを出すような方の90何ページに飛ぶとそっちは。
1:07:33	福岡県西方沖地震とだけ書いていたり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:37	うん。文章上だと。
1:07:42	26 ページだとここは 2005 年福岡県西方沖地震、M7.0 とかですね。
1:07:47	これで特定せずの模擬地震を作りますとか、
1:07:51	確かもともと断層モデルの地震動評価も、多分福岡県西方沖地震の、
1:07:56	余震か普請を使って経験的グリーン乾燥っていう
1:08:01	やってたんで、
1:08:04	うん、ちょっとこの辺もう、
1:08:07	何か申請書の中で、どっちを使ってるかごちゃごちゃにならないようにはしておいてください。はい。
1:08:14	はい。
1:08:31	規制庁佐口ですけど、
1:08:35	今後ご説明されるということでしたけども、ちょっと前もって確認だけをさしていただきたいのは、
1:08:44	到来方向の話ありました。
1:08:47	ガー
1:08:48	ごめんなさいね。
1:08:50	なんだっけ
1:08:50	補足説明資料の、
1:08:53	これ何ページになるんですかね、10、
1:08:57	5、15、16。
1:09:01	自分、
1:09:03	14、15、
1:09:07	敷地内の地震観測というところですね、7 ポツ 5 ポツ 5×3 の
1:09:13	この(1)のところの一番最後の、
1:09:18	地震の到来方向による特異な地盤増負の傾向が見られないってあるんですけど、
1:09:23	これごめんなさい。
1:09:27	そうね、どういう基準で見られないっておっしゃってます。何か後ろの図を見た方がいいのかな。
1:09:37	のページかな。90、
1:09:40	97 ページ 89。
1:09:51	ちょっと教えてもらっていいですか。
1:09:54	はい。九州電力の本村でございます。98 ページとか 99 ページの図に該当すると思いますけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:01	各方向でばらつきがあるっていうところは、ありますけども、基本的に一応下回っておりますので、
1:10:10	そういう観点で特異な増幅っていうのがないというようなことで、記載をしたというところでございます。
1:10:22	はい。規制庁佐口です。もう少しストレートに、
1:10:26	言うतですね。
1:10:29	これかなり、1を上回ってるものって幾つもあるんですけど、
1:10:35	例えば、
1:10:36	1秒から2秒のところですね。
1:10:40	もっと長いところも含めてですけど、
1:10:43	いや、
1:10:45	何が言いたいかというたですね。
1:10:48	御社が着目されているのは、例えばこれって内陸地殻内地震だけの話のことをおっしゃってるのか。
1:10:55	それとも、
1:10:56	いや、
1:10:57	他も含めてなんですけれども、特に重要な短周期。
1:11:01	についておっしゃってるのか。
1:11:04	ていうのが、今の記載だと、もうこの図から、地震の到来方向による特異な地盤増幅の傾向が見られないってありますけど、どう見てもこれ、長周期があって、
1:11:16	2倍とか、場合によっては、これ鉛直ですかね、2倍も超えるような、
1:11:22	ところに線が書かれてたりするんですけど、その辺りがどうどう考えてるのかっていうのを、
1:11:27	お聞きしたかったんですけど。
1:11:29	本村でございます。まず、内陸地殻内地震が、検討用地震になってますので、内陸地殻内地震に着目してというところ。
1:11:39	それと、長周期の方、鉛直動については、マニュアルに近いところありますけども、我々短周期に着目したというところもありまして、
1:11:52	こういうふうに記載させてもらって
1:11:54	てるんですけども、ちょっと記載をちょっと検討したいと思います。
1:11:59	はい規制庁サクセス少なくとも今の記載だと、今、ご説明を受けた内容にはなっていないくて、そうすると、っていうのが、まず、
1:12:08	やっぱり、
1:12:09	なってしまいますねっていうのと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:12:12	これ、おんなじなんですけど、
1:12:15	じゃあですね。
1:12:16	今度、
1:12:17	本当の地震動の、
1:12:20	評価。
1:12:22	となると、
1:12:23	これが、
1:12:30	10、ごめんなさい、18とか19ページになるんすかね。
1:12:35	いわゆる
1:12:37	応答応答スペクトル。
1:12:41	あ、ごめんなさい、もっともつと後から19から20とか、
1:12:47	そう、COとスペクトルに基づく
1:12:49	で、ここに書かれているのって一番最初のところですね。
1:12:54	これ、7ポツ、5ポツ5ポツ3の、
1:12:57	地震観測及び微動アレイ探査云々ってこのこの項目にある。
1:13:03	ものです。まさに先ほど、
1:13:05	確認したものだと思うんですけど、
1:13:08	でも、ここに、
1:13:10	対応する。
1:13:12	図というのが補正係数っていうのは、
1:13:14	この図っていうのは第7ポツ5×6ポツ12の図。
1:13:20	はい110。
1:13:22	3、2ページ、2ページとか3ページですね。
1:13:24	というので、さっきの、
1:13:27	さっきのと、これ全然、全然違うというか、違うんですけど、何がこれどう違うんですか。
1:13:42	本村でございます。99ページの図と、112。
1:13:47	ページの図が、何が違うのかというところですかね。
1:13:51	まず、99ページの図につきましては、マグニチュード5以上のデータセットを、
1:13:59	使って、到来方向別に検討したもの。
1:14:04	一方、112ページにつきましては、
1:14:07	M5.4以上、200キロ程度以内の観測記録を使って、平均をとったと。
1:14:14	いうもので、対象とする地震が仙台の方でも議論ありましたけども、ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:21	数が違うというところがあるので、次回、
1:14:24	今後ご説明する時はちょっとそこら辺の諸元見せながらですねちょっとご説明したいと思います。
1:14:32	はい規制庁佐口ヤマシタの条件が違うと。
1:14:36	ということで、少なくとも今の
1:14:38	19 ページ、20 ページのここも、
1:14:41	記載は、
1:14:42	何か、
1:14:44	前のそのままですよ的な感じで今書かれているので、ただこれはやっぱり違うってことですね。
1:14:50	ていうのと、
1:14:51	これ確認なんですけど、
1:14:53	例えば、
1:14:54	観測記録っていうその前の年前の 98 から 99 ページの頭。
1:15:01	それから実際に補正を使うところの、この 111 から 112 ページぐらい。
1:15:08	乗って、
1:15:09	ひょっとしてこれ位置が違うとかそういうことないですか。
1:15:14	はい。九州電力の本村でございます。1 はですね同じものを使ってます地表の記録を使ってます。
1:15:22	はい。規制庁佐口ですわかりました。なので。わかりましたあくまでも使っている地震が、
1:15:28	違うということ。
1:15:30	ていうことはわかりましたんでそこは、
1:15:33	次回以降わかるようにしていただきたいと思い
1:15:40	あとはもういいですよっていう細かいてにをはまでっていう話だったら別ですけど、
1:15:48	一応大きなところは以上で、
1:16:42	規制庁サービスももう 1 個ですね、地下構造モデルのところ、その前も含めてなんですけど、
1:16:51	14 ページ 15 ページ辺りですかね先ほどの、次、次のページなんですけど、
1:16:57	15 ページになるのかな、(3)のボーリング孔内っていうところがあって、
1:17:03	これボーリング孔内の減衰測定とPS検層はこうですよって、示されてるんですけどその次の地下構造モデルで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:11	これ、
1:17:13	速度構造の話が、いや、この(3)の話じゃなくていきなりこれ3ぽつ地盤のところに行って、
1:17:20	いう話になってるんですけど。
1:17:22	これ、なんで、じゃあ(3)で、
1:17:25	PS検層を、
1:17:27	やってるのに、
1:17:29	この地下構造モデルっていうのは、それを無視して、
1:17:32	もともとの3ポツの地盤で、
1:17:35	示されてるこれ別ですよ、3ポツの地盤で示されてるエリアPS検層と。
1:17:40	ここでいう(3)の、このPS検層は多分別だと思うんですけど、
1:17:45	なぜ、それは、
1:17:47	入ってこないのかっていう。
1:17:49	ところをちょっと確認させてください。
1:17:53	はい九州電力の本村です。(3)につきましては今回の標準応答スペクトルの審査の中で実施した三つのボーリング法なんですけども、
1:18:03	もともと設定していたのが、建設時のPS検査をやっておりましてそれが3ぽつ地盤のところに書いてあります。それに基づいて、そこを引っ張ってきて
1:18:17	-15メートルから-200メートルの速度構造を設定しているのそういう、こういうふうな引用の仕方で記載をしているところなんですけども。
1:18:29	ケイキョウサクですねいや、呉とそういう話ではなくって、あくまでも、
1:18:36	その審査の中で、
1:18:38	今回新しくPS検層もされていて、それと、
1:18:44	マーム前のPS検層との関係だったり、今回のそのモデルに、
1:18:49	じゃあどうどう反映するのかもしれないのかとか、
1:18:53	そういう話って、当然、
1:18:55	議論したと思うんですけど、その辺りが、今の、
1:19:00	この申請上は、
1:19:02	よくわからなくて、あくまでも、例えば、清川のその3ポツの地盤でのPS検層の方が、
1:19:10	妥当なんですとか、保守的なんですとか、何か、
1:19:15	そういうのも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:16	あるのかなという。
1:19:19	本人、
1:19:20	これまでの議論です。
1:19:22	踏まえればと思ったんですけど何かその部分が書かれてなくていきなり、
1:19:27	(3)でPS検層をやりましたと言っておきながら、
1:19:31	その結果って結局、地下構造モデルにどう、どう生かされているのとか、そういう話が全くないので、
1:19:38	ちょっとこの関係がやっぱりよくわからなくて、
1:19:41	そうすると、いや、何でじゃ減衰地盤減衰だけは今回の、
1:19:46	何か、
1:19:47	こうやったのを、
1:19:49	使ってるのとかですね。
1:19:51	そういう花Cがどうしても、
1:19:54	今の記載では見えないんですけどっていう、そういうことなんですけど
1:20:01	はい。九州電力の本村です。確かに佐口さんおっしゃられるところがちょっと、関連づけができてないんですけども、もともとの3ポツ地盤のPS検層の結果っていうのは炉心位置周辺でやっておりまして、
1:20:14	地下構造モデルの設定についてはそ、それを参与参照してたと。
1:20:19	いうところですよ。
1:20:23	今回の追加のボーリングの速度構造減衰について、どう反映されてるかかっていうところなんですけども、それにつきましては最後の方に書いてますけども、
1:20:34	伝達関数で理論伝達関数でPS検層結果と、
1:20:40	減衰測定の結果を使った、要はPS検層モデルというところを審査で説明させていただいてましたけどもそのところで、一応確認をしているというところは、記載しているところでございます。
1:20:59	はい。成長させた後、もう1個ですね地下構造モデルの中でさっき鈴木の方からもう少し確認ありましたけど、
1:21:08	この地盤減衰の設定でマイナス15メートルー90メートルまでのところなんですけど、これを今読んでいくとですよ。
1:21:17	伝達関数を対象にした逆解析による同定結果等に基づき、不確かさを考慮して設定するという。
1:21:26	これをですね、すごく素直に読むと、
1:21:29	逆解析でやった結果、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:34	何か不確かさがあって、
1:21:36	その不確かさを考慮して設定するっていうようにも読めるんですけど。
1:21:41	そう、そうなのかな。
1:21:43	ていう。
1:21:45	例えばこの
1:21:48	同定結果等に基づくと、これこれこれであるんですけども、何か不確かさを不確かさなのかなこれ。
1:21:57	保湿保守的、保守的に、例えばもう 12.5 に設定をすとか、なんかそんな話じゃなかったかなあとと思うんですけどイマダ単純に、
1:22:08	基づき不確かさを考慮して設定するっていう、
1:22:11	ちょっと素行の関係どうなってるかももう 1 回教えてもらっていいですか。
1:22:25	不確かさ、今言われたのは、今の書き方で不確かさというところが、同定結果が不確かさがあるっていうところで最後、3%にしたっていうように見える。
1:22:38	という意図だと思いますんで、
1:22:41	ちょっとまとめ資料の方もう 1 回確認して、正しい記載誤解のない記載になるようにちょっと検討します。はい。
1:22:50	はい規制庁タテ多分まとめ資料で、そう。まさしく 23 ページのところで、いや、いろいろこう伝達関数でやってるんですけどせいぜい救急って、
1:23:00	10 より小さいのが、こう出てくるんだけど、でもそれを不
1:23:04	踏まえてなのか基づいてるのかわかんないですけど、
1:23:08	いずれしても、
1:23:09	それに、
1:23:10	保守性を含めて、保守的に 12.5 に設定って今書かれてるんで、ちょっとその関係が今どうなのかなっていう。
1:23:18	所。
1:23:19	ていうのと、
1:23:20	もうこれ本当ごめんなさい、すごく細かいことなんですけど、Vs 割る 15 から 10 って、
1:23:27	慣用値の話ですね EL-200 メーター日、これ、何か
1:23:31	うん。わかる人わかるんですけど、ぱっと見ですね。
1:23:34	Q 値そのものが、自由っていうふうにも読めちゃうので、
1:23:39	ここはちょっと工夫された方がいいのかなと、ごめんなさいこれ個人的には思った。
1:23:44	というところですよ。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:50	承知しました。ちょっと記載の適正化をさせていただきます。
1:24:26	すると。
1:24:28	そのさて地震動地震動のまとめの部分として、
1:24:32	ちょっと同じコマの中で、全部は消化しきれないんですけど、
1:24:37	ちょっと地盤斜面の方は、説明というよりも、ちょっとこちらから資料はいただいているんでね。
1:24:43	ちょっと説明をいただいて、しっかり説明いただく時間はないよと、あとはちょっと特重の中身の話は、
1:24:50	この中ではできないので、
1:24:53	根井。
1:24:55	てあげると。
1:24:59	一番、この前仙台の方の、
1:25:02	会合です、少し
1:25:06	判例記載の適正化の話は、
1:25:10	もう
1:25:12	制度なので仙台の特重を除くTTS049 で言うところの、
1:25:19	何ページだ。
1:25:22	物性値なので、
1:25:24	20 ページからかな。
1:25:27	それと、
1:25:29	ほぼ同じ構成であるはずの限界のTT047 の、
1:25:34	該当するページが何ページからかという、
1:25:40	13 ページかな。
1:25:45	どちらも、そのA級からD級まであるかは別にして、
1:25:50	ある一定のもの。
1:25:54	についてはですよ。
1:25:57	等級を設定します。
1:26:00	玄海の方は、何だ。
1:26:03	弱武装。
1:26:06	で岩盤分類はABC級にします。で、弱部層は断層及びシームに分類します。
1:26:12	仙台の方は特に何もありません。
1:26:15	今回、
1:26:17	仙台の方にはちょっと米印という形で、ミヤマ層と北薩火山岩類と混在管理は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:23	これは岩種のみを区分します。
1:26:26	いや、前回の方、同じページを見ると、特に何も書いてないから全部岩級分類が、断層とシーム以外はですよ。
1:26:33	永久からC級に分類できるのかなと思って、前回の次のページを見ると、
1:26:40	これはA8 のクボ。
1:26:43	田力層も、これは何かバーが引いてあるのかな。
1:26:47	チームとか断層とか、
1:26:49	戻してマンメイドロックはとりあえず置いといてですね。
1:26:52	玄海で言うと、
1:26:54	岩種岩級のところの、
1:26:57	ABC9 が入ってなくてパーッと書いてあるのは、これは川内で言うところの混在がんとか北薩火山岩とかミヤマ層みたいに、
1:27:06	岩級岩種のところは、
1:27:09	岩級とかがバーじゃなくて、岩級まで含めてコウセルを統合しているのと、これ意味一緒ですか。
1:27:19	はい。九州電力の村上です。今おっしゃられた点につきましては、意味合いとしては同じにご認識いただいて、
1:27:26	結構かと思えます。
1:27:29	はい。そうするとですよ。ちょっとなんでまずですね、この何か限界の 13 ページと、
1:27:38	仙台の 20 ページで小中断層チームが書かれたり書かれてなかったり、
1:27:43	その逆にミヤマ層北薩火山岩類 I 混在がだったり、橋野クボ佐伯層が、これ書いてあったり書いてなかったりっていうのを、
1:27:52	ちょっとまずそうですね。
1:27:55	そこはサブとしては、
1:27:58	これだからもし玄海と川内記載合わせるんだったら、断層シームを
1:28:03	仙台ですよ 20 ページにも書かれてる限界が清奈良。
1:28:07	川内の 20 ページに書かれてないといけないし、
1:28:11	川内の 10 ページの米印が西南だったら、玄海の方の 13 ページにもそれが書かれてないといけないし、
1:28:18	何ていうか、それぞれそれぞれ
1:28:21	片方は断層チームのことを書いたり、片方は見えますことを書いたりっていうので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:26	何ていうか整合がかかるんで、しかも同じタイミングで同じ発、事業者で、
1:28:33	これもした業者が違うからかもしれないんですけど、
1:28:37	それは、
1:28:39	話として制限をするなら、
1:28:42	統一しましょうよってというのが1点。
1:28:44	その上で、
1:28:46	川内が、
1:28:48	29ページ。
1:28:50	限界が、
1:28:54	今一応そこを前提とすると。
1:28:57	10ページで、
1:28:59	玄海の方の判例は、
1:29:01	とりあえず
1:29:02	判例とって埋め戻し動
1:29:05	マンメイドロック凡例じゃなくて字づらで書いてんのかな。
1:29:11	本例ではなくて多分市図の中に直接書いてあるとして、埋戻動から、
1:29:16	減歩版とか、境界が8-クボ、
1:29:19	凡例で断層チームってというのがあって、
1:29:22	この8のクボ佐伯層というものは、前回の資料見る限り、多分白抜きになってんですかね20ページとか、
1:29:31	24が一番わかりやすいか、厚いかな。
1:29:33	24が一番、8のクボ佐伯層がツインでわかりやすいですね。
1:29:39	これも白抜きになっていて、
1:29:41	一方で、玄海川内から川内の方は今回ですよ、一応岩種岩級による、
1:29:49	岩盤分類の判例ですとって、
1:29:54	海岸北薩火山岩とかっていろいろ辺判例がんとかですね。
1:30:00	29ページなり、ハンデページなり、
1:30:04	書いてあるんですけど、
1:30:08	これわあ、
1:30:11	ミヤマ層とか北薩火山岩と混在なんて、
1:30:16	その他、埋め戻し、
1:30:19	何かこの玄海と仙台のやつをですね、隣に、
1:30:23	比べてみると仙台の方ももう少し岩級岩種を厳密に、
1:30:28	凡例の中に書こうとしたのかもしれないんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:30:33	CL級の黄色をハッチングしてるというのは、
1:30:38	これは何か直すと大変だから直してない。
1:30:40	そういう、
1:30:42	どうですかねこれ。
1:30:46	はい。九州電力の村上です。
1:30:49	衛藤。
1:30:50	作業に時間がかかるからという理由では、修正をして、
1:30:55	ないわけではなくて、
1:30:58	ミヤマ層ですとか北薩火山岩類混在が、これらが持つその力学的特性を踏まえると、
1:31:05	他の岩種で言うC9 辺りに相当するものと我々判断しておりまして、この害解析用の
1:31:14	要素分割を、色分けで見えていただいたときに、どの程度の強度を持つものが、どういう範囲に分布しているのかっていうのが、視覚的にイメージしやすいように、
1:31:26	ここはCTUと同じような黄色で色をつけているということでございます。
1:31:34	はい。
1:31:35	そうすると、強度の方に戻らなきゃいけないんで、前回の 14 ページ、
1:31:41	ですかね。
1:31:44	うん。
1:32:25	はい。九州電力の村上です。
1:32:27	すいません今名倉さんにご指摘いただいた通り会合では、今私が発言したような趣旨の回答は、
1:32:33	しておりませんので、ちょっとこの色については再度ご検討させていただきます。
1:32:45	0.79 混在が 0.1。
1:32:56	例えばですよ、21 ページを見ると、
1:33:00	混在がんの強度特性例えばせん断強度が 0.17 でこれがCL級の
1:33:08	二つ上の箱の 0.17、
1:33:11	わあ北薩火山岩とかミヤマソウノ 0.79 でこれが、
1:33:15	B、CM級かな、0.75 なんで、これに、
1:33:20	近いとかそういうイメージの、
1:33:25	等を行っている。
1:33:28	で、8 のクボ砂れき層は、
1:33:30	前回の 14 ページで、今日動特性としては 0 点。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:35	せん断強度が 0.27。
1:33:38	これがC級ウエダと 0.42 とかなんで、
1:33:44	でもなんかね、鉄腕のC級は 0.1 なのだから、何かこの辺も、
1:33:50	ちょっとど、こっちは 8 小村礫層はC系とは言いがたくて、仙台の方はC級に近いっていうのは、
1:33:58	ちょっとそこら辺の話を議事 1 出すと。
1:34:03	谷津オク色つけてないんだこれ多分C級と同じものというのを視覚的に表すんだとしたら、
1:34:10	うちのコガだからそうじゃないってことなんですね、これ。
1:34:16	九州電力の村上です。あとは、その分布する範囲ですとか、
1:34:26	PTC47 の方の図面でいきますと、例えば、
1:34:30	20 ページ 21 ページとか、
1:34:34	3 号 4 号の直交する断面でいきますと 8-クボの分布ってのは非常に局所的。
1:34:40	ですので、そういう分布っていうところも考えて、
1:34:43	の、
1:34:45	この図面の作成の仕方、
1:34:54	なるほど、それなりにこの分布が大井ミヤマそう北薩とかの問題が、これに比べて、
1:35:01	そもそも玄海の方では、
1:35:03	非常にマイナーな分布をしているところがあるから、
1:35:07	うん。
1:35:11	なんででしょうね玄海の方はそういった意味で言うと、
1:35:14	今回、玄海は、
1:35:18	前回はそういう意味で直すところははねて直すところはなかったってことなのかな。
1:35:24	強いて言うと、申請書にははねないのかもしれないですけど一応 13 ページで断層シームと書いていて、
1:35:31	これ以外にだから 8 のクボ佐伯層がありますよと。
1:35:35	同じようにこの分類できないものとしては、
1:35:38	もし川内に合わせるんだったら 13 ページにもう 1 個注釈がつくか一つ枠を足すか。
1:35:46	だけど申請書上は多分こんなところまで多分出てこない。
1:35:49	かな谷まとめ資料上の
1:35:52	川内と玄海並べたときにどうかっゆう話。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:55	はい。
1:36:35	九州電力の村上です。
1:36:37	いずれにしましても
1:36:38	今鈴木さんからご指摘いただきましたように、
1:36:42	玄海と川内、
1:36:45	同じような資料構成をしているにもかかわらず整合がとれてない、ちょっとちぐはぐになってる部分ございますので、そこは記載の仕方を
1:36:57	工夫して書くようにいたします。
1:37:02	大井。
1:37:08	そう。うん。
1:37:15	だ大御所久米にすればいいかなあという話だったんですけどね。
1:37:21	あとごめんなさい、29 ページとか見ると、岩種のところには、
1:37:29	溶血業界の北薩火山岩類知念坂沢力が変判例がんで、
1:37:35	岩種
1:37:37	上の岩種岩級っていう、この
1:37:41	両括弧のもの等、
1:37:43	真ん中の岩種による岩盤分類とその下ぶれないようにしたのか、その他ともかぶらないようにしたんですねこれ。
1:37:49	はい。
1:37:51	九州電力の野上です。会合時の資料では、ここが岩盤分類という1くくりになっていましたので、そこについてのご指摘だと認識をしておりますので、
1:38:02	グループを三つに分けて、上の岩種岩級による岩盤分類っていうところについては、この岩種と岩級の組み合わせによって、図面に図示していると。
1:38:12	というような方法で削除してございます。
1:38:16	以上です。
1:38:19	うーん。わかりました。
1:38:26	そうか。そうすると、
1:38:29	岩種岩級のものや岩種のものであとも断層、
1:38:34	その他破砕部とか、その他みたいなものが、
1:38:37	あるんだな、ちょっと待てよ。
1:38:46	最悪どうするかというと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:49	20 ページで言うと、当該線の基礎地盤はといって米印が打ってあって、岩種のみで区分してるのは、この三つですと、20 ページ、川内の 10 ページね。
1:39:01	そう言ってそれ以外のその他のことはあえて書いていないっちなことなのか。
1:39:10	うん。
1:39:11	で限界の方はそこが断層とシマ、あえて表で書いてある。
1:39:18	それぞれわかりにくいですね。
1:39:22	ただ、ちょっと申請書にちょっと残る。
1:39:25	部分からすると 3、29 とか 31 とこです。
1:39:30	後はそうするとじゃあいるだけの問題になるのかな。それ以外は、
1:39:34	特に、
1:39:38	だ、仙台の方が、岩種岩級と岩種だけのものとその他千野より今、
1:39:45	細かくこの鍵括弧で、
1:39:46	これはねかなり複雑な
1:39:50	構造してるんで、
1:39:52	川内はそういう三つに分けましたと。
1:39:54	玄海の。
1:39:56	要素分割図は、
1:39:58	ほとんど 8-クボ佐伯層ってほぼほぼ、マイナーなものがちょっとあるぐらいで、
1:40:07	さらにそのA級B級C系のところには砂岩頁岩とか玄武が品がんとか、C級共通とかっていうふうになってるから、
1:40:17	これは判例と書いておいても、そんなに迷わないでしょう。
1:40:22	判例も右側に、旧B系の後ろに括弧書きありますよね。玄武岩だったり、
1:40:27	共通っていうのもありますけど、うん。
1:40:31	なので、
1:40:32	玄海の方は凡例とだけ書いて 1 くりにしても、
1:40:38	迷わないでしょうと。玄海はそもそも敷地内かなりこの
1:40:42	川内が川内は結構いろんなものが複雑だったり、
1:40:46	慣習岩級に分けれないような岩種のみのものもかなり
1:40:50	多いので、
1:40:51	こういう凡例の書き方にしました
1:40:55	全く同じようにつくれというところとちょっと厳しいかなっていうところだね。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:00	あとはちょっとこの慰労が今黄色になってるんだけど、本当にね。
1:41:07	いや、
1:41:08	キシノなり、ダイゴの色をつけるなり、
1:41:12	あとは、
1:41:13	ただそうすると、なんかも、
1:41:16	ダイゴの色をつけたりすると、やはり大変な作業なんですかねそこは、
1:41:33	九州電力のムラカミ、
1:41:35	色を変える作業。
1:41:38	ていうのはそ、そんなに時間を要するものでは、
1:41:42	ないと思ってますので、そこは適切な色をきちんと検討した上で、
1:41:47	修正の方は、を行いたいと思います。
1:41:51	はい、わかりました。一応その会合のところでそちらからも説明があったりした範囲内で、
1:41:57	このミヤマ層北薩火山岩 1 混在願というものについて、
1:42:02	一応最後ですね申請書、今後、
1:42:06	どのタイミングかは別にして、
1:42:08	資料 7 日ダイゴのように、五つ目の色にするかっていうところはお検討いただくということですかね。はい。
1:42:14	えっとね。
1:42:15	一応そういうことで、
1:42:17	あります。
1:42:21	他は。
1:42:24	あとはですよ。
1:42:42	まとめ部分とかは別なんですけど、
1:42:45	ちょっと 4 ページかな。
1:42:48	仙台の方で、すみません川内の 4 ページですね。
1:42:54	すみませんちょっとあまり特定重大事故等対処施設の方と比較する形でものを、
1:43:00	伺えないんですけど、
1:43:02	ここで 1、
1:43:03	いるのは、ちょっとこのキー今回ですね達してきた今回の地形変更あつて出してこられたと思うんですけど、
1:43:12	この部分間会合でも少し、
1:43:15	確認が、
1:43:16	これの特重以外の部分の説明として、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:20	すいませんもう判子をもう1回説明いただいてよろしいですか
1:43:28	4ページ目の、二つ目のポチを追加した趣旨という。
1:43:33	ことでよろしい。
1:43:36	介護の時に、こちらの資料でいきますと、9ページの
1:43:41	今回申請における確認事項というところの、
1:43:44	真ん中ですね。
1:43:46	第三条第38条に関する返上に
1:43:50	よる。重要施設への影響というところで、
1:43:54	一番最後の方で、地表の地形変更の考慮及びSsの追加を踏まえても既許可の評価結果に変更はないと。
1:44:02	いう表現を記載してございました。
1:44:04	ただこの、出郷の地形変更の考慮っていうところが、会合では、ご質問いただいて、
1:44:13	ご説明をさせていただいたところなんですけれどもそこが資料上、
1:44:19	繋がりがよくわからないというご指摘だと認識をいたしましたので、この9ページの、
1:44:25	その前の分ですね従っての前の部分に、同じような表現を追加するとともにその前段として4ページに、
1:44:32	今回のこの表現を追加したということでございま
1:44:39	ああ、なるほどこれだから表面を削っ
1:44:43	ていて、いわゆる施設と、
1:44:47	当然指示だったりいわゆる、
1:44:50	建屋側面みたいなのところに当たるような、
1:44:54	ことがないので、この今回の地形変化は地表の地形変更で施設を直接シーズ岩盤、
1:45:00	マンメイドロックの変更はないっていうのは、あとその建屋の
1:45:04	側面が何かいじかれてないっていうところも、場所が離れてるんで、その趣旨も入ってるのかなこれは、
1:45:21	そもそもが、多分、右側の方は、
1:45:26	こういう話だ。
1:45:38	何でこれ岩盤とか或いはそのマーメイドロックとかって、明瞭かつ競争
1:45:44	丸亀戻し、うん。
1:45:47	いいですか。Bの方については、時間、
1:45:51	これ確か、午後の会合でもしたはずなんで、これも入っているってことですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:57	あと特に変えたところは、
1:46:00	あんまり、
1:46:01	仙台の方は、
1:46:04	特にない。
1:46:07	九州電力の村上です。多分結果の方、主な変更点は、今お話をさせていただいた岩盤分類のところ、
1:46:18	に関する判例だったり、
1:46:21	文章の追記と、地形変更に関するところ。
1:46:26	の説明。
1:46:27	になります。修正したところ、
1:46:31	と言いますと、
1:46:35	あと最後の当銘のページになります 67 ページになりますけれども、
1:46:42	ここで設置許可基準規則との
1:46:48	対応がわかるように、仙台の方では、資料記載しているところなんですけれども、■二つ目。
1:46:54	ここ 30 は 3 条と 38 条に該当するところですが、この順番が傾斜の影響が、
1:47:02	上で、
1:47:03	変状による、
1:47:04	重要施設の影響が真下に、
1:47:09	書いて審査会合資料で書いていて、冒頭の資料とちょっと上下逆になってましたので、その整合を合わせましたと。
1:47:16	いうところと、あとはいくつか出てくるんですけども参照するページが、
1:47:21	出てきますのでそこを今回の資料に合わせて、修正をしています。
1:47:26	いう点が、川内のこのDBに関する資料での修正点になります。
1:47:39	はい。
1:47:40	ページふやしたりしました所々何だろう。
1:47:45	だから、適正化したのかな、何か
1:47:48	すいません九州電力の村上です。ページが変わった理由としましては、会合資料では、冒頭の方にスケジュールと本資料の概要をつけてございましたのでその 2 ページを、今回の資料からは削除してございます。
1:48:03	わかりました。なので例えば 50 ページとかで、
1:48:07	何々はP何ページに記載、58 ページに今記載ってなってますよね設定の考え方は 58 ページ記載。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:15	これはだからその会合からスケジュールがずれた分だけ削られた分だけ、
1:48:20	前のページに戻しましたってそれだけの話ですね。はい。わかりまし
1:48:25	うん。
1:48:26	はい。
1:48:33	アップは、
1:48:36	限界は、
1:48:39	特に、
1:48:43	ちょっと玄海の地盤斜面のまとめ紙がちょっとどこ直したかだけ、簡潔に、じゃあ、聞かせてもらっていいですか。はい。
1:48:49	九州電力の村上です。
1:48:51	資料番号TPG47、玄海のDBに関わる資料でいきますと、まず冒頭の3ページ。
1:48:58	今回申請における確認事項のところでございますけれども、この一番下ですね、米印に、
1:49:06	これまでいただいている許可処分の履歴を書いていたんですけれども、コウについて、会合のときに、ちょっと時系列がもうちょっとわかるようにということでご指摘をいただきましたので、下三行、
1:49:19	について追加をさせていただきます。
1:49:23	というのが1点。
1:49:32	その他としまして、あと、
1:49:34	32ページ、
1:49:38	49ページ、同様の修正になるんですけれども、
1:49:42	評価結果の一覧ということで、
1:49:45	滑り出力傾斜の一覧を示してございます。その③、基礎底面の傾斜、
1:49:51	2000分の1を下回るってところの2000分の1の下に仙合同様評価の目安という文言を追加してごさい。
1:50:00	最後、PL、
1:50:02	すいません66ページ。
1:50:04	こちらまとめの記載になりますけれども、
1:50:10	川内での記載を参考にしてこちらも設置許可基準規則との対応がわかるように修正をしております。
1:50:19	修正点としては以上になります。
1:50:24	はいそうか66ページまとめのところ改めて解析しないようなものも含めて、川内と同じように変えたってことですねはい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:50:34	これ、もし、
1:50:38	そういう意味でいうと、今ちょうど築いたコウ 66 ページというところの地殻変動のところはですねえ。
1:50:45	そうか、理由は書いてないのかな。
1:50:52	それはほら万、変形のところは結局マンメイドロックなり直接岩盤支持だから、
1:50:58	変更はない。
1:51:00	評価結果に変更はない。紹介変更はないか。
1:51:02	書いてあって、地殻変動のところも単に数文字+だけだと思いますけど今回その特定せずなんでという
1:51:09	だから、製するが不要であるっていうところまですいません理由をちゃんと書いてくださいと。
1:51:16	それだけ、
1:51:17	はい。
1:51:18	九州の久野村上です。承知しましたそこは記載の適切記載を追加するようにいたします。
1:51:26	はい。あんまり申請書のところに直接書くもんじゃないと思い
1:51:30	はい。
1:51:36	はい。
1:51:37	ちょっと、
1:51:39	時間が限られているので、
1:51:42	少しあくまで今まとめ資料ベースの話
1:51:47	いうことで、
1:51:49	ありますが、
1:51:55	あれどこ、さっきちょっと待ってね。
1:52:08	地盤斜面のまとめ資料の方で、
1:52:11	何か、
1:52:14	はい。
1:52:17	なければ、
1:52:20	そうすると、
1:52:24	どうしますかね地盤斜面は、
1:52:32	ちょっと特呉の関係独自を含むような内容は、すみませんちょっと今、この中ではできないので、
1:52:39	ちょっとまた機会を改めるとして、
1:52:42	そうすると玄海の地震動については、話の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:47	もし、今説明がなかった部分についてはまた別の機会に資料いただいて説明を受ける。
1:52:54	それによって、
1:52:55	いわゆる申請書に反映させるものは何なのかというところを、
1:53:00	すいません、それを踏まえてですね申請書上の扱いを考える。
1:53:05	いただく。
1:53:06	地盤斜面はすいませんちょっと今、気づいた限りで申し上げたところで少し図面の方は色だけですけど、おそらく再検討いただく。
1:53:15	ということこれは、
1:53:18	そういう意味でいうと解析結果なりのところは特に会合でも議論になっていなかったホンチャンのところなので、
1:53:25	一応、すいません今日この場では確認したご説明いただく聞かないですけど、
1:53:32	少し、いわゆる申請書上の書きぶりとしてどうなりそうかっていうイメージは一応資料はいただいているので、
1:53:38	ちょっとこれはその前提特に、
1:53:42	解析結果のところでは何か突き出しがってるわけじゃないので介護でも
1:53:46	もっと確認の方は粛々進めたいとは思う。
1:53:52	はい。
1:53:53	では、ちょっと今日のところのヒアリングとしては以上で終了したいと思いますけど、よろしいですか。
1:54:03	はい。
1:54:09	ではヒアリングの方は以上で終了します。お疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。